

鳥取ふれあい共生ホーム
てるひ

令和5年2月号

（有）ケアサービス米子
広報部

照陽の家だより

〒683-0812
米子市角盤町3-124-3
TEL 0859-21-8151

節分 立春大吉

1月末からの大雪災害後どうなるかと思っていた雪も次第に溶け2月3日の節分、4日の立春と天気は穏やかで節分行事を楽しむ事が出来ました。今年は新聞紙を丸めた豆を赤鬼、青鬼に思い切りぶつけ厄を払いました。鬼は外!! 福は内!



2月の壁画製作
～春よ来い!!利用者様と一緒に
満開の梅を作りました。



令和4年度 ケアサービス米子事例集を発行

今年度も法人各部署から7つの事例が発表されました。そのどれもが提供するサービスにおいて課題解決にむけて取り組んだ様子が良く分かるものとなっています。看護小規模多機能型居宅介護 照陽の家としては「認知症の独居高齢者の暮らしを守る ～住み慣れた地域で暮らしの向上に繋げた支援～」訪問看護STハートケアからは「3年目の新型コロナウイルス感染症 ～生活様式の変化～」を発表しました。



平行棒を使ってリハビリをしています!!

今回はリハビリに欠かす事の出来ない「平行棒」の紹介をします。左右の棒を掴みながら棒の間を歩き来する歩行リハビリの他に片側を使ってのスクワットや両端に椅子を置いて座ったり立ったり立ちすわり訓練など職員と一緒に楽しくリハビリをして頂いています。



照陽の家は住み慣れた地域において、高齢者の方、お子様、地域の方、誰もが集い、多様なサービスや活動の中で支え合う拠点です。



スタッフ紹介



介護士
吉田さやか

照陽の家に入職するまでは施設で介護ヘルパーをしていました。その当時はただ時間に追われ必要な支援をこなすことで精一杯だったように思います。照陽の家ではデイサービスにいられた利用者様に職員全員で関わり気づいた事をすぐに話し合う事が出来、また訪問介護でご自宅に伺った時は利用者様の生活の場で一対一で向き合う事が出来ます。そして少しでも気になる事があれば同じ照陽の家にいるケアマネージャーに相談や報告が出来、訪問看護ステーションの看護師には体調や薬の事などタイムリーに聞く事が出来ます。一番近い仲間でチームケアが出来る事にとても心強さを感じています。また、昼食後など利用者様とお話をしていると子供だった頃の楽しい話や私が知らない事を聞いたり出来とても勉強になり人生の先輩である事を感じるひと時です。不安な事だらけの世の中ですがこれからも利用者様が笑顔で過ごして頂けるよう私も笑顔を忘れずに支援を続けていこうと思います。ちなみに私は家に帰れば男の子3人の母親です。次男は料理が好きで、たまに自分で食材を買ってきておしゃれな料理やデザートを作り盛り付けにもこだわって最後に写真を撮っています。彼は独学で調理師免許を取得し、今年の春から県外で料理人として働くことが決まりました。私も介護士として良い介護を提供するために常に勉強ですがこれから挑戦していく息子と一緒に頑張っていきたいと思っています。